

## 事業名 旭竜子どもの居場所づくり事業

事業主体 名称：旭竜学区連合町内会

住所：岡山市中区中島

事業実施場所 岡山市立旭竜幼稚園

岡山市中区中島 50-1

～事業を始めるにあたって～

(地域の現状・課題・目標など)

孤立しがちな未就園児の親子の居場所作り、妊娠期からの知り合い作り、幼稚園児小中学生の長期休みや放課後の居場所、子ども第三の居場所など、子どもの健全育成、子どもの学習・体験活動、同年代を育てる親同士の交流を促し子育て仲間を作る場所の提供。地域との関わりを作ることで、地域事業への参加を促す。また、今の子育て環境について現状をしてもらうことで、より良い子育て環境地域作りにつなげるために子育て支援者の知識のアップデートをしていく。地域における人材の発掘。地域の中で自分の役割を持ち、やりがいをもって生活していくための情報共有の場を作る。子育て環境の改善や、地域の課題解決につなげ、今後広場スタッフや、子育て支援に関わる人材を育てる。

～事業実施内容～

体験型交流事業

居場所づくり

<第1回>

① 事業名 旭竜子どもの居場所 2nd season

② 参加人数 保護者 87名、子ども 287名

その他参加者(近隣在住祖父母世代 10名 旭竜学区主任児童委員 2名)

③ 日 時

1. 7月26日(火) 9:30～12:00/14:00～16:30
2. 7月29日(金) 9:30～12:00/14:00～16:30
3. 8月2日(火) 9:30～12:00/14:00～16:30
4. 8月18日(木) 9:30～12:00
5. 8月27日(土) 9:30～12:00
6. 8月30日(火) 14:00～16:30
7. 9月20日(火) 14:00～16:30
8. 9月27日(火) 14:00～16:30
9. 10月18日(火) 14:00～16:30
10. 10月25日(火) 14:00～16:30
11. 11月22日(火) 14:00～16:30
12. 11月29日(火) 14:00～16:30
13. 12月6日(火) 14:00～16:30

- 14. 12月13日(火) 14:00~16:30
- 15. 12月17日(土) 9:30~12:00
- 16. 1月17日(火) 14:00~16:30
- 17. 1月24日(火) 14:00~16:30
- 18. 1月31日(火) 14:00~16:30

③ 場 所 旧岡山市立旭竜幼稚園

④ 内 容 内容：子育て支援員や助産師、地区の主任児童委員を中心に放課後の小学生の習支援の場、遊び場所の提供。乳幼児親子の遊び場やちょっと困りごとを話したり、育児相談などしました。地域の方と一緒に農作業や野菜の収穫もでき、地域との繋がりを大切に、活動しました、



### ⑥活動の成果等

小学生たちは、広場に来る乳幼児の世話をお手伝いしたり、自分より小さい子たちの面倒をよく見てくれていました。公園などで会うと挨拶をしたり、自然に遊んでる姿が見られ、居場所のできたコミュニティーが地域でうまく働いていると感じています。地域の方とも顔見知りになり、会えば挨拶する関係ができ、この活動の目的でもある「地域で顔見知りを増やす」という、いいきっかけ作りになっています。

<第2回>

① 事業名 旭竜子どもの居場所 ふれあい講座「くむんだー」

② 参加人数 大人10人、子ども36人

③ 日 時 令和4年7月26日(火)10:00~12:00

④ 場 所 岡山市立旭竜幼稚園

⑤ 内 容 講師：新見おもちゃの会

内容：暑い日でしたが車から荷物を出し、2階の遊戯室に運んでジャングルジムを組んだり、外ではシャボン玉、スライム作りなどで遊びました。子供達も協力して片付けまでが遊びの一部という流れになっていました。2歳から小学生まで幅広い年齢の子が参加できるプログラムでした。



## ⑥ 活動の成果等

依頼した、新見おもちゃの会の方は、木のジャングルジム「くむんだー」の他に幼児向けの木のおもちゃやワークショップなどを用意してくれていました。その場にいる子どもたちの年齢なども考慮して、段取りや時間配分など、子供達と一緒に動いているにも関わらず、誘導などもとても上手で、時間通りに片付けまでみんなで行ないました。準備も片付けもイベントとして行うことは、今後の企画などにも取り入れていきたいと思います。コロナかでイベントなどがなくなる中、子供達の普段できない体験活動ができ、大好評でした。

① 事業名 旭竜子どもの居場所 ふれあい講座「性のおはなし」

② 参加人数 子育て中の親4人

③ 日時 令和4年7月29日(金)10:00~11:30

④ 場所 岡山市立旭竜幼稚園

⑤ 内容 講師：シャノン香織

内容：助産師の方に来て頂生の話をしたかったが、10歳~15歳という年齢が対象でしたが、部活や学校行事で参加が難しい時間であった為、小中学生の参加者は0だった。広場に来ていたお母さんに向け、産後の体調変化や育児についての座談会をしました。



## ⑥ 活動の成果等

中高生に向けた講座は、何度か実施していますが、内容、時間帯、公報などとても難しいと感じています。小学生や中学性の望まない妊娠や日本での性教育の遅れなど、学校では教えてくれない内容も多いので、子どもたちには是非聞いて欲しい内容です。参加人数は少ないが今後も実施していきたいと思います。告知方法や集客が今後の課題となりました。

① 事業名 旭竜子どもの居場所 ふれあい講座「流しそうめん大会」

② 参加人数 大人13人、子ども37人

③ 日時 令和4年8月2日(火)10:00~14:00

④ 場所 岡山市立旭竜幼稚園

⑤ 内容 内容：地域の方に、そうめんを流す竹の貸出をしていただき、机や椅子を公会堂から運び、そうめんを茹でてもらうという連携で開催しました。消毒の徹底はもちろん、1家族ずつ順番にルールに立つようにし、十分距離も取り間隔を十分にとり実施しました。



## ⑥ 活動の成果等

コロナ禍で地域での交流体験活動がなくなるなか、地域が一丸となり、子どもたちの為に動いてくださることは本当にありがたかったです。子どもたちも普段できない経験であり、夏休みのいい思い出になりました。

① 事業名 旭竜子どもの居場所 ふれあい講座「クリスマス会」

② 参加人数 大人 12 人、子ども 31 人

③ 日時 令和 4 年 12 月 17 日(土) 10:00~12:00

④ 場所 岡山市立旭竜幼稚園

⑤ 内容 演奏：ラテンメグスタ

内容：岡山ラテン研究会「ラテンメグスタ」に演奏をお願いしました。一緒に踊ったり、楽器に触れ実際一緒に演奏する曲もあり、大人も子供も盛り上がりました。演奏の後は、サンタが持ってきたくじを子供達に配布し、プレゼントと交換しました。



## ⑥ 活動の成果等

昨年度も好評で、すぐ予約がすぐ埋まるので参加者は抽選にて決定しました。バンド演奏は、この日のためにスリスマスソングや、子ども向けの曲をアレンジして演奏くださり、初めて見る楽器にも触れる機会も設けてあり、子どもたちから沢山の笑顔が見られました。

## 育成学習会

会議名 地域子育てボランティア学習会 「～おはなし会～子どもが育つ環境を考える」

### <第1回>

- ① 参加人数 4人  
保育士、子育て支援者、子育て中の親子など
- ② 日 時 令和4年8月18日(木)
- ③ 場 所 岡山市立旭竜幼稚園
- ④ 内 容 NPO法人子育て応援ナビ ぽっかぽかの田口陽子さんをお呼びし、子育ての現状、乳幼児期の大切さなどをお話頂きました。座談会形式で、都度、気になることなどを質問しつつ、進めました。



### ⑤ 活動の成果等

青少年犯罪の支援をされていたことから、乳幼児期の親と子との関わり方が大切で、子育て支援をするきっかけにつながったお話、地域により子育て支援に差があるを聞きました。乳幼児期の関わり方の大切さ、今の子育て環境、子供達に寄り添った子育てなど、支援者、子育て世代共に為になるものとなりました。また、岡山市の子育て支援の遅れなどを感じています。

### <第2回>

- ① 参加人数 5人  
地域住民、小学生
- ② 日 時 令和4年8月27日(土)
- ③ 場 所 岡山市立旭竜幼稚園
- ④ 内 容 自分の得意を付箋に書き出し、みんなで共有し、その中で地域にできることなどを話し合い、今後の活動に活かさないかと考えています。



### ⑤ 活動の成果等

地域の方の意外な趣味や特技が発見でき、共通の趣味などが見付き話が広がりました。住民同士の繋がりができ、今後支援が必要になった際には声かけしてお願いしようと思っています。

～事業を終えて～

○事業実施による効果

昨年度よりも地域の方や子供達の参加者が増え、開催日は幼稚園から賑やかな声が聞こえてきます。この場所での繋がりができたことで、子どもの居場所以外でも声かけや一緒に遊ぶ姿が見られ、「地域で顔見知りを増やす」ということが、子どもの居場所を中心となって行われていると強く感じています。地域の方のお手伝いの申し出も増え、いろいろな方が旧幼稚園に出入りするようにもなりました。昨年度のこの取り組みが、おかやまながる協働のまちづくり賞で入賞をいただきました。

○今後の課題・展開

<今後の課題・展開>

2年目の開催となり、参加者も地域の手伝いの方も増えましたが、小学生はある特定の学年で決まった子が遊びに来ており、他の学年や学区外の小学生でも遊びに来られるということを周知していきたいです。中学生や高校生のボランティアにも参加して欲しいので、地元中学校や近隣高校への声掛けができていたらと思います。今後は現在の利用者の他の年齢層や地域の方、昨年度からの課題だった妊婦さんやそのパートナーが気軽に参加で来る取り組みを考えていきたいです。

○まとめ

今年度も大きな事故や怪我がなく、無事に開催ができ、とても有意義な時間になりました。子供達が自由に遊べる場所が少なくなっていく中、いろんなものに触れ、いろんな人と関わり、時には自分の役割をもって、地域の方々に見守られながら遊び回れる環境があるのはとても素晴らしいことです。主に子ども対象と言うことで、参加料を低く設定しており、本助成には大変お世話になりました。今後も、継続できるような取り組みとして考えていきたいと思ひます